



図書館に魚群現わる！
新聞紙アート展

甲津畑町、高木町、青野町で

防災意識を高める訓練実施

防災月間である9月から10月にかけて、甲津畑町、高木町、青野町で、救急救命講習会や避難訓練、消火訓練など、地域住民の防災意識を高める訓練が行われました。

甲津畑みらい会議による講習会は、9月28日に自治会館で行われました。当日は、東近江行政組合消防本部の職員さんによる心肺蘇生法の講習後に「煙体験ハウス」により火災時の煙の怖さを体験しました。

高木町では、10月5日に避難

訓練および防災訓練が行われました。午前8時の緊急放送を合図に、班ごとに決められた避難経路により集合場所に集まり、安否確認等を行いました。避難訓練後は、消防本部職員さんによる初期消火訓練・AED講習、もくもく体験や日赤奉仕団による炊き出しも行われました。

放水訓練」は中止になり、救急救命講習のみが行われました。いずれの地区でも、参加者はいざという時のために真剣に取り組んでおられました。近年の異常気象による災害や緊急事態は、いつ、誰にでも予期せず起こりうることであります。自分自身や大切な家族の命を守るために、「防災」を常に意識しておくことは大変重要なことです。せめて、年に一度くらいは日ごろの対策等を見直してみてはいかがでしょうか。



班別に決められた避難経路図（高木町）



甲津畑町での救急救命講習会



もくもくテント体験（高木町）



雨天のため屋内で消火器の使用方法の指導を受ける（青野町）

編・集・後・記
先日、地元の神社で英霊をお祀りしてある豊魂社の屋根の修理があり、その遷宮に立ち会いました。

社そのものは、それほど大きいものではないですが、屋根の形状は複雑、また、解体には中にこの神体が納められており別の所に移して、補修完了後、元に戻す神事のため、まず、ご神体を宮司にお預りしていただき、白い布で囲い別の所に移し、葺き替え完了後元に戻しました。

大工さんが屋根をめくったところ、木片が入っており、明治23年檜皮葺き、昭和2年銅板葺きと、長年にわたって維持されてきたことがわかりました。そして今回は、ガルバリウム鋼板葺きです。

この木片に書かれた携わった人の名前や屋根の葺き替えの遷り変わりをみると江戸時代からの建物と推測され、改めてアナログ記録の大切さを実感しました。（k）

【お詫言】

前号の122号で、「みんなの夏休み」協賛企業名に一部誤りがありましたので、訂正してお詫言申し上げます。
(正) (株)NXワンビシアークライフ
(誤) (株)NXワンビシアークライフス

永源寺地域が登場する本・雑誌

永源寺図書館提供

『林業遺産へ行こう！』 柴崎茂光／編著 文一総合出版

「林業遺産」とは、「林業活動を通して地域に何らかの意味を有する有形物や無形物」のこと。全国には50カ所以上の林業遺産があり、自然を生かす昔の知恵の継承の取り組みを知ることができます。永源寺の小椋谷も木地師文化発祥の地として選ばれています。この本には、筒井神社や大皇器地祖神社などのゆかりの神社、木地師資料館、ふるさと交流館などが紹介されています。



『地域と関わる学生たちのバトンリレー 近江楽座の実践から地域と大学の未来へ』 滋賀県立大学近江楽座推進サポート会議／編 現代図書

滋賀県立大学の学生たちが、住民とともに地域の課題に取り組み、活性化に向けて活動する「近江楽座」の活動をまとめた記録集。活動のひとつ「茶レン茶」ーは、高齢化と過疎化により政所茶を守り維持していくことが困難な地域の課題解決のため発足しました。2013年から続くその活動が、年表や関係者の声とともに詳しく紹介されています。



奥永源寺 コンテナハウスのピザ屋

土日祝日営業 11:00~15:00
✉ pizzeria.uoko@gmail.com
Instagram: pizzeria.117

アクセス
滋賀県東近江市夢畑町 520
道の駅奥永源寺溪流の里 隣



こんにちは 栄養士です



フレイル予防の

キーワードは、「朝たん」

筋力維持には、「朝」食に「たん」ぱく質の多い食品を食べることが大切です。

たんぱく質を多く含む食品
肉、魚、卵、大豆製品、乳製品



Step1 すぐ食べられるものを準備



Step2 定番メニューを決めておく



朝食にたんぱく質の多い食品を食べて、
元気な1日をスタートさせましょう！

もっと知りたい人は

東近江市 健康づくり



まちの話題



人権ふれあい講座 部落問題について学ぶ



永源寺地区人権のまちづくり協議会主催の人権ふれあい講座が9月26日に開かれました。講師の関西大学人権問題研究室非常勤研究員、澤井未媛（さわいみひろ）さんは部落問題と『出会う』をテーマにお話しされました。

澤井さんは高校・大学の非常勤講師もされていて、若い人が部落問題の知識が少ないことに気付き、部落問題や同和問題を研究されることになりました。部落問題は誰のための問題なのか。当事者なのか社会なのか。変わるべきなのは誰なのか。あとの人たちのために自分はどのような道筋をつけられるのか。参加者50人に問いかけられました。

地域の歴史再発見講座 奥永源寺で森の文化を堪能



9月27日、コミセン主催の地域の歴史再発見講座が行われました。今回は奥永源寺地域で森の文化フィールドワークについて、「木工きたの」の北野清治・宏和さん親子、文化遺産キュレーターの井上ひろ美さん、市職員の丸橋裕一さんと嶋田直人さんを講師に招いて工房周辺や筒井神社を散策しながらお話いただきました。

北野宏和さんからは、お椀ができるまでの工程順に鉋の種類を変えて削っていく実演と詳しい説明がありました。また、講師陣からは木地師文化の継承や自然保護の課題解決の手段として「森の文化博物館」構想の必要性についての説明がありました。

ちびっこ和太鼓奏者 緊張しながらも『夢の鼓』に挑戦



8月23日、甲賀市にある鹿深夢の森で行われた「和太鼓サウンド夢の森 2025」に鈴鹿壱番太鼓から小学生メンバー4人、近江和太鼓団巴〜UZUMAKI〜から中学生メンバー1人が、この日限定のユニット『近江子ども太鼓連盟 夢の鼓』に参加しました。

県内の和太鼓チームから9団体、約90人の子もたちが参加し、力強い和太鼓の演奏でオープニングを華々しく飾りました。特に小学生メンバーたちは初めての大きな舞台で少し緊張していましたが、全員元気よく堂々とした姿で演奏することができました。

賑わったスポーツフェスタ 新種目で大盛り上がり



9月21日、第5回永源寺地区スポーツフェスタが開催されました。老若男女を問わず、だれでも気軽にスポーツを楽しんでもらおうと、永源寺グラウンドではモルック、ターゲットバードゴルフなど、体育館ではネットでポンボイ、ディスクッターニンなどのニュースポーツ9種目が用意されました。

救急救命体験や今年新種目の太鼓の達人体験など参加者はスタンプラリー形式でそれぞれの種目に挑戦しました。

今年は新たにじゃんけん大会が開会式と閉会式に行われ会場は大盛り上がりでした。